

パーティシリウム萎凋病に強い 寒玉系キャベツ『(仮称)YR恋豊』の 品種特性と栽培のポイント

雪印種苗(株)
千葉研究農場 佐々木 則雄

1.はじめに

アブラナ科野菜は、軟弱野菜のコマツナ、ベカナ、チングンサイ、ミズナなどがあり、露地栽培・施設栽培等で周年供給されています。一方、重量野菜と呼ばれるハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、ダイコン等も季節や標高差を利用し、作型にあう適品種の導入により、一斉収穫可能な品種や多収で品質の良い品種が育成されてきました。

しかし、産地では長期にわたる連作により、コナガのように薬剤耐性を持つ害虫が出現し、生産者にとって大きな負担となっています。更に、今回紹介する新病害・パーティシリウム萎凋病は現在、生産者にとって大きな問題になりつつあり、その対策が必要となっていました。

今回は、新病害の「パーティシリウム萎凋病」に強い寒玉系品種の『YR恋豊』(試作系統名E8079YR)をご紹介いたします。

2.パーティシリウム萎凋病とは

この病害は土壌病害の1つで、白菜では黄化病、キャベツではパーティシリウム萎凋病、ダイコンではパーティシリウム黒点病と呼ばれます。

土壤中より維管束に侵入・増殖し、維管束内部を菌で埋め尽くしてしまい、結果として、生育が阻害され、外葉の黄化や飛び火状の細かい黄化が発生し、黒腐れ病と、よく似た症状となります。パーティシリウム萎凋病は、傷からも植物体内へ侵入しますので、自床苗では苗取り時の断根により、パーティシリウム菌が容易に侵入できる状況を作ってしまいます。

さらに、トラクター等、管理機の未洗浄は、病原菌の土壤汚染を進行させる原因になると思われます。

本病害は土壤菌のため圃場寄主作物は次の通りです。

葉菜類 キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー

根菜類 ダイコン、パレイショ、ゴボウ

果菜類 トマト、ナス、ピーマン、メロン、オクラ、スイカ、エダマメ、イチゴ

その他 ウド、ホウレンソウ、フキ、春菊、ラッカセイ、ダイズ、アズキ

等多岐にわたって確認されています。

3.『YR恋豊』の品種特性

1) 生育

- 定植後60日前後で収穫に達する中早生種。耐暑性に優れ、特に高温期に係る作型で旺盛に生育、早生化し、球の肥大が良好となります。
- 外葉は極濃緑でコンパクト。草姿は生育中期までは極立性で、球の肥大に伴い後半はやや立性となります。密植適性高く管理作業が容易です。



写真1. パーティシリウム萎凋病の症状 (左: 地上部、右: 地下部)



写真2. 濃緑で揃いの良い恋豊



写真3. 裂球が極めて遅く在圃性が高い

- ・裂球が極めて遅いため在圃性が高く、出荷調整がし易い品種です。

2) 品質

- ・球は正円の扁平球、球色はワックス少なく濃緑で、高品質です。
- ・食味は寒玉系としては柔らかな葉質で青臭み少なく、食味に優れ、気温が下がるにつれ糖度も高まります。

3) 生理障害

- ・「スス症（スミ症）」は市販品種の中でも強いクラスに入ります。

4) 耐病性

- ・バーティシリウム萎凋病に対して、市販品種の中では強いクラスに入り、高度抵抗性を有します。

- ・イオウ病はAタイプ抵抗性なので、高温期でも罹病しません。
- ・黒腐れ病、黒斑細菌病、株腐れ病に対しては、市販品種の中でも強いクラスに入りますが、肥効が切れるごとに発病しやすくなるので注意してください。
- ・菌核病は防除基準に従って、定期的な薬剤散布を行って下さい。

- ・盛に生育し、球の肥大は極めて良好ですが、後半は気温低下に伴いやや緩慢になります。
- ・育苗時の夕方灌水は、胚軸の徒長やベト病を誘発するので控えて下さい。苗のしおれが激しいときはその部分だけ軽く灌水して下さい。

6. むすび

今回紹介しました『YR恋豊』は、バーティシリウム萎凋病に対して高度の抵抗性を有し、耐暑性が強い寒玉系として今後の普及が見込まれています。上記の特性を理解して、をお願いします。

5. 栽培上の注意点

- ・一般地の早春まきは、天候によっては抽苔の危険性があるので、無理な早播きは注意して下さい。
- ・一般地の夏播き栽培では、前半は旺

4. 作型

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|------|----|-----|----|-----|----|----|-----|-----|
| 寒寒冷地 | | ●—○ | ▲ | | —■ | ■ | | |
| 一般地 | | | | ●—○ | ▲ | ■ | ■ | |

●—○：播種期
▲：定植期
■：収穫期



写真4. 初期は極立性で裏面まで薬剤がとどきやすい



写真5. 嫩恋村での栽培風景